

問題【国語】

次の各文の（ ）に「デマ」、「ホラ」、「ガセ」の言葉のいずれかを入れましょう。

1. 彼は町一番の（ ）吹きだ。
2. その芸能人についての情報は（ ）ネタだった。
3. トイレットペーパーがなくなるという（ ）が流れた。

豆知識

雑学コラム

「デマ」「ホラ」「ガセ」

ネットの普及とともに「デマ」が広がることが多くなりました。「デマ」というと嘘うその情報という意味ですが、同じように嘘を表す「ホラ」や「ガセ」と言い換えできないことが多いですよね。今日は嘘を表す「デマ」、「ホラ」、「ガセ」についてみていきましょう。

まず、「デマ」です。「デマ」は、もともと古代ギリシャで民衆や社会を不安にさせるような言動をする政治家であるデマゴーゴス（demagogos）からできた言葉です。この由来から「デマ」は民衆や社会を不安にさせる悪意のある嘘を指して使います。よく「口から出任せを言う」の「出任せ」から「デマ」という言葉ができたという話をするがありますが、「出任せ」は「口から出るに任せる（後先考えずにとりあえず言う）」という意味で、全く「デマ」とは違う意味の言葉です。気をつけましょう。

次に、「ホラ」ですが、これは時代劇でも合戦のシーンなどでよく使われるラッパのように吹くと音の出る「ホラ貝」がもとにできた言葉です。「ホラ貝」は吹くととても大きな音が出ることから、物事を必要以上に大きく言うことを「ホラ(を吹く)」と言います。「ホラ」は事実を大げさに言うことであるため、全く事実と異なる話をする「嘘つき」と「ホラ吹き」では言葉の意味が違います。混同しないようにしましょう。

最後に「ガセ」は「お騒がせ」の「がせ」がもとになったとも言われていて、世の中を騒がせる誤った情報を言います。「デマ」と「ガセ」の違いは「デマ」は悪意をもって言われる嘘であるのに対して、「ガセ」はそういった意図のない嘘を指すという点にあります。

日本語にはうそも必要な時があるという意味の「うそも方便」という言葉もありますが、悪意ある「デマ」や、悪意なくとも世間を騒がせる「ガセ」を言わないで、聞いても騙だまされないようにしたいものですね。

【解答】

△△ 'ε 44 '2 △△ 'I